

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子：やさしいっばい かしい子：かっばい たくましい子：やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和5年11月30日(木)

12月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 160名

「和土小学校の未来へ」

校長 池田 誠

例年になく、夏日を記録した11月。ここのところ朝晩が冷え込むようになり、校庭にある山茶花が咲き始め、冬の近づきを感じています。

11月18日(土)には、さいたま市立和土小学校開校150周年記念事業実行委員会による、開校150周年記念式典が開催されました。吉武まつ子様、吉武大地様、吉武萌様、熊井麗音様に歌やフラメンコで花を添えていただき、児童や卒業生、来賓・保護者・地域の方々の心に残るお祝いの会となり、幸甚に存じます。

校内に保管されている、和土小学校開校100周年記念誌「和土小百年のあゆみ」には、当時の岩槻市教育委員会 教育長 関根 衛様が、この和土の地域を「和土の地名が示すが如く平和で人情味豊かな土地」と述べておりました。そして、この和土の地で、100年という長きに渡り和土小学校の教育が推進されていることを高く評価されておりました。現在でもその伝統や校風を受け継ぎながら、行政機関と連携を図り、学校と家庭・地域が「子どもたちの健やかな成長を支えていく」という思いを常に共有し、協働した教育活動に努め、8,104名の卒業生を送り出すことができました。

式典の中で、「子どもたちの夢」を担当した13名の児童は、全校の児童にとつたアンケートをもとに、①「ありがたい気持ちをもって、何事にもチャレンジできる人になりたい」②「優しい気持ちをもって、誰とでも支え合えるような人になりたい」③「和土小学校の周りにおける四季を感じる自然を大切にしていきたい」という、将来目指す3つの姿を発表しました。その実現に向け、児童一人ひとりが考えて行動し、身に付けていくことが必要だと考えています。そして、その児童の目指す姿を支えるためにも、本校の教育も時代の流れに合わせて「変革～チャレンジ～」していこうと考えています。ICT環境を活用して、学校生活における多様な学びの場を通して、いつでもどこでも誰とでも自分らしく学び、学習に対する自信や満足感を得ることができるようにする。さらに、児童同士や、児童と教師・地域の方々・自然との触れ合いを大切に、心の豊かさや個々の幸せを追求できる力も身に付けられるようにしていきたいと考えています。

この記念すべき年に、ご縁をいただき、節目の校長としての重責を受け止めながら、和土小学校の教育をつないでいただいた皆様に感謝するとともに、「変革～チャレンジ」して、学校教育の使命を果たしつつ、「地域とともにある学校」を一層推進していく思いを改めて強くもちました。

12月4日(月)から12月10日(日)は「第75回人権週間」です。自分の価値観と合わないからといって、過度に反応した言動をとると、誰かを傷付けてしまいます。相手に思いを巡らして接する態度を身に付けてほしいと願っています。児童自身が様々な場面で相手のことを理解し、相手を大切にする具体的な態度や行動がとれるように、児童の心を育みたいと考えています。

結びに、現在のところ本校では、インフルエンザの感染は落ち着いています。今後も健康管理には十分ご留意いただき、心穏やかな年の瀬を迎えられますように願っております。



【咲き始めた山茶花】

☆☆ 和土小の150年、そして未来へ ☆☆

【校旗】

○初代(昭和初期に製作)

- ・勾玉が四隅にあった。

○2代目(昭和51年3月に製作)

- ・初代のものに寄せたつくり。「権威のシンボルである勾玉はふさわしくない」という理由で、勾玉を取り去った。

○3代目(平成18年頃に製作)

- ・現在、使用しているもの。「岩槻市立」を「さいたま市立」に変更。
- ・入学式や卒業証書授与式等で壇上に飾る。校長室に保管。

